



真岡市の課題は？

真岡市のいちごをもっとPR

日和田 真岡市がいちごの生産量日本一であるということをもっと全国にPRしていくべきだと思います。生まれてからずっと真岡市で育ってきましたが、最近になって真岡市のいちごが数字でも日本一であることを知りました。もっと市民が真岡市のいちごのすばらしさを理解し全国に誇るべきだと思います。

西山 いちごの生産が盛んな他の市町では、市内のいたるところにいちごのマークやオブジェなどが飾られているのを見かけます。真岡市内にも、もっといちごの生産日本一をPRできるようなものが増えるといいと思います。

森島 以前に開催されたストロベリーワールドやいちごフェスタはPRとして、とても効果的なイベントだと思いました。県外からの来場者も多く、大きないちごのオブジェ展示やいちごを使用したスイーツなどの販売、いちご狩りなどが開催され、真岡市のいちごの良さが多くの人に伝わるイベントだったと思います。県内の他の市町と競い合いながら合

同でイベントを開催し、いちごのPRができるのも面白いと思います。

市長 たくさんのアイデアをありがとうございます。二宮尊徳翁の教えである「報徳仕法」の発祥の地が真岡市であることはご存じですか。今年は11月に「全国報徳サミット」が真岡市で開催されます。全国から多くの皆さまがお越しいただくイベントとなりますので、「いちご王国栃木の首都もおか」として日本一のいちごをはじめとした、真岡市の魅力をPRしたいと思います。

こんなまちになってほしい

国際交流の輪を広げて

日和田 国際交流が充実している点をもっと周知してほしいです。秋の大産業祭で友好都市のブースを担当しましたが、市内に住んでいる方でも友好都市について知らない人が多かったことから、まずは市内に向けた周知に力を入れていくべきだと思いました。例えば、外国人住民の割合が高いことを活かして、市内に住む外国人の方に国際交流のイベントなどにボランティアで参加してもらおうというのはいかがでしょうか。海外から日本に來られ

ている方のほうが国際交流に関心を持ちやすく、参加される方も多いと思います。

市長 教育国際交流が充実している点など、市には誇るべき教育政策や地域資源が多くあります。そういった市の強みをいかにアピールしていくかが今後の人口減少を防ぐ鍵になると思います。市内在住の外国人の方に国際交流の協力を得るという日和田さんの考えは大変面白いアイデアですね。

多様な学びの充実を

森島 令和8年度に栃木市に県内初の公立夜間中学が開校されますが、日和田さんの話にもあったとおり、外国籍の方の割合が多い真岡市に夜間中学を設立してはいかがでしょうか。夜間中学は過去に十分な教育が受けられなかった高齢者の方だけでなく、外国籍の子どもたちが日本語を学べる場として、また、不登校の子どもたちが義務教育を受けられる場となります。真岡市から栃木市の夜間中学に通うとなると、通学時間や交通の利便性の観点から、通うことが難しい方が多くいると思います。市内に夜間中学を設置することで、子どもたちの将来の目標や職業の選択肢が増えるのではないかと思います。

市長 教育は平等に受けられなければならないと私も思います。市内の小学校は創立150周年を迎えた学校が9校もあります。先人たちの教育に重きを置く姿勢を大切に、今後も教育政策に力を入れていきたいと思っています。

学校を地域で支える

西山 市内の学校で教育実習等を経験して感じたことは、学校によって保護者や地域との関わり方に差があることです。学校によっては、保護者の方や地域の方が学校と関わる機会が設けられていました。地域全体で子どもたちを育てていくためにも、こういったボランティアを通して学校と関わる機会を増やしてほしいです。

市長 地域全体で子どもたちを育てていくことは、今の時代において、とても大切なことだと思います。コミュニティ・スクールの導入も進んでいますが、地域と子どもたちが関わりを持てるようなイベントや場所が増えるといいですね。

市長 若い世代の方が真岡市がより良いまちになるようにと考えていただいていることに感銘を受けました。今後も皆さんと一緒に真岡市を盛り上げていきたいと思っています。本日はありがとうございました。

